



Kagoshima Bank

2019年3月期アクションプランの取組み状況、共通KPI、自主的KPIの結果について

1. 総括

- (1) お客さま本位の業務運営に関する基本方針、アクションプランの行内浸透に向けた諸施策を積極的に実施いたしました。
- (2) また、お客さまに応じたわかりやすい情報提供に向け、ITを活用した提案機能の充実を図るとともに、研修や勉強会による行員教育を実施しました。
- (3) 今後もお客さまの最善の利益実現に向け、最適かつ最良な金融商品・サービスの提供、定期的なアフターフォロー等充実を図ってまいります。

2. アクションプランの振り返り

(1) お客さまの最善の利益実現に向けた当社グループの基本姿勢

お客さまの最善の利益の実現に資するため、金融商品・サービスの特性やご負担いただく手数料その他の費用について十分に説明し、お客さまにご理解いただいたうえで、特定の商品や商品提供会社に偏らない金融商品・サービスの提供を行ってまいりました。

(2) お客さまの最善の利益に資する適切な利益相反管理

販売商品の偏りや長期保有状況等の把握のため、専門部署にて、月次、四半期次、期次で販売状況のモニタリングを行っております。

(3) お客さまにご負担いただく手数料等の明確化

お客さまにご負担いただく手数料や費用を明確にするために、預り資産販売担当者専用の資料として「ファンド別内容一覧表」にお客さまにご負担いただく手数料その他の費用について明記し、金融商品・サービスを利用することで得られる効果や運用成果と、お客さまにご負担いただく根拠を、「かぎん金融商品ガイド」や「かぎん投資信託ラインナップ」を使用してご説明しております。

(4) お客さまに応じた分かりやすい情報提供の充実

お客さまに応じた分かりやすい商品やサービスの情報提供を行うため、以下の施策を実施いたしました。

- ① タブレットを活用し、お客さまの金融商品・サービスの内容の正しい理解と最適な選択ができるよう全営業店に導入し、随時機能を拡大してまいりました。
- ② ご成約後も、お客さまの保有資産の状況や市場動向などを継続的に提供し、幅広いお客さまへ定期的にアフターフォローを実施いたしました。なお、分配金変更や相場急変時における営業店に対する周知

はじめよう、あたらしいコト。

鹿児島銀行

方法を見直し、より早くお客さまにお伝えできる体制を構築いたしました。

- ③店頭やホームページでの情報の提供とあわせて、お客さま向けのセミナーを幅広い内容で開催し、お客さまが安心してお取引を始められるよう、また、安心してご契約を継続できるよう、情報提供を実施いたしました。

なお、お客さま向けセミナーは、「セカンドライフ」「相続対策」「投資環境」等の多岐にわたる内容で、2018年度は38回開催いたしました。

(5) お客さまにとって最適かつ最良の金融商品・サービスの提供

お客さまの金融商品・サービスの内容の正しい理解と最適な選択ができるよう、「かぎん金融商品ガイド」や「かぎん投資信託ラインナップ」等のお客さま向けパンフレットや、タブレットを活用した商品提案等を行いました。

お客さまの長期的かつ安定的な資産形成に資する以下のキャンペーンを実施いたしました。

- ①「九州 FG 証券開業 1 周年記念キャンペーン」(2018 年 12 月 3 日～2019 年 1 月 31 日)
- ②「九州 FG 証券春の資産運用キャンペーン」(2019 年 3 月 1 日～2019 年 4 月 26 日)
- ③かぎん外貨定期預金キャンペーン (2018 年 6 月 1 日～2018 年 8 月 31 日)

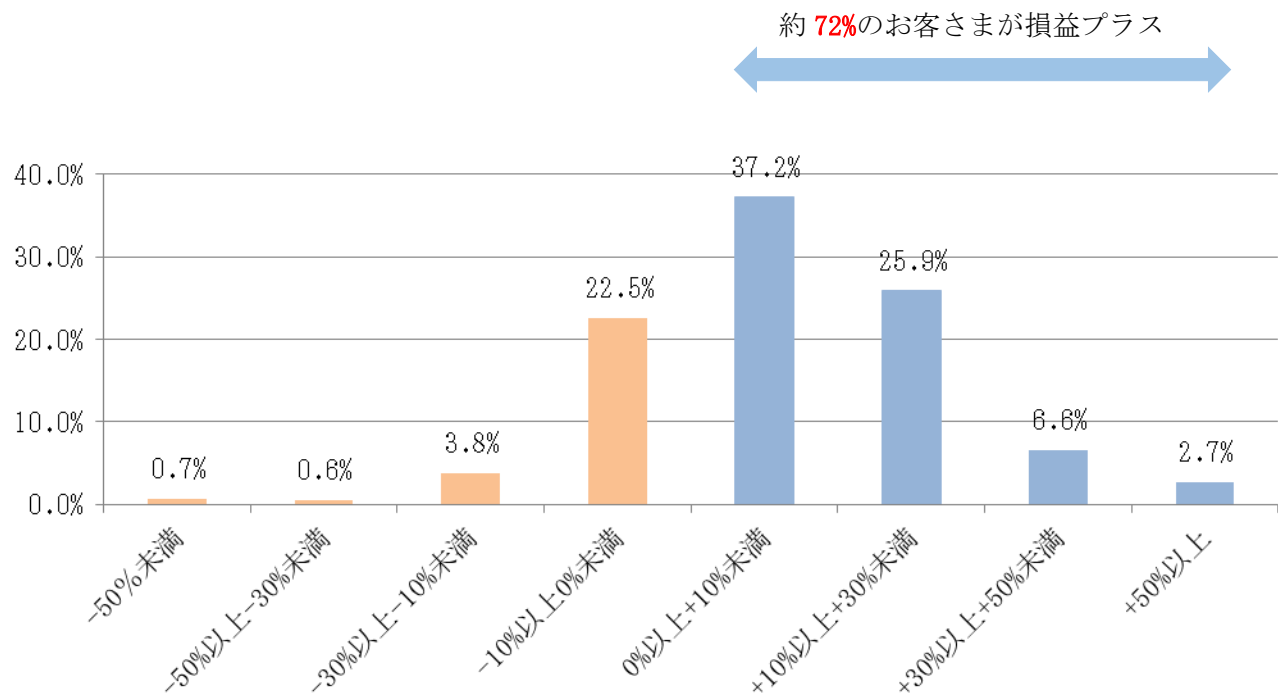
(6) お客さまの信頼と期待に応える態勢の整備

お客さま本位の業務運営に関する基本方針やアクションプランについて、階層別・業務別の研修や行員向けセミナー等を通じて、継続的に周知・徹底を行ってまいりました。

なお、お客さまの安定的な資産形成に資する適切な動機付けとなるように、業績評価制度の一部見直しを実施いたしました。

3. 共通KPIの結果

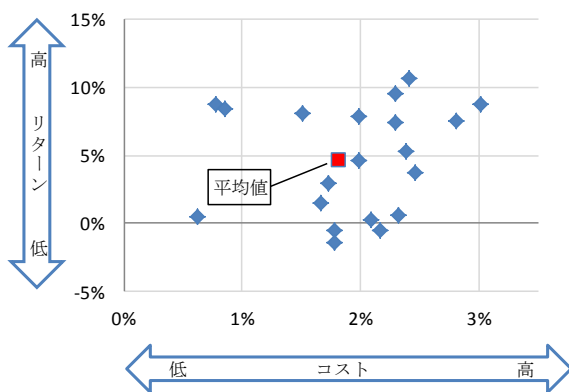
【図1】投資信託の運用損益別顧客比率（2019年3月末時点）



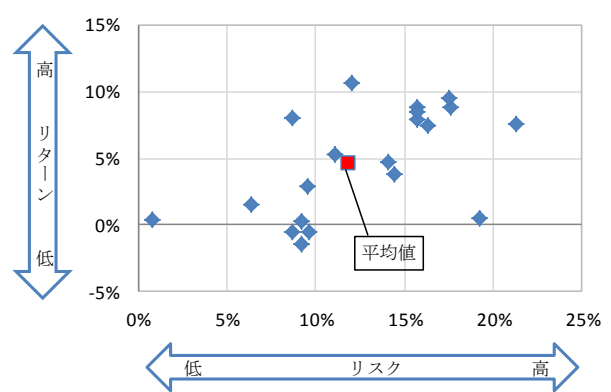
〈定義〉2019年3月末時点に投資信託を保有している個人のお客さま

分子：基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売付金額
 －累計買付金額（含む消費税込の販売手数料）
 分母：基準日時点の評価金額

【図2】投資信託の預かり残高上位20銘柄の
コスト・リターン



【図3】投資信託の預かり残高上位20銘柄の
リスク・リターン



〈定義〉

コスト：基準日時点の販売手数料率と信託報酬率の合計値（年率換算）

リターン：過去5年間のトータルリターン※（年率換算）

リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差※（年率換算）

※騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

2019年3月末時点における投資信託の預かり残高上位20銘柄（設定後5年以上の投資信託）

	ファンド名	コスト	リターン	リスク
1	インデックスファンド225（三菱UFJ国際投信）	0.78%	8.80%	15.71%
2	三菱UFJ Jリートオープン（3ヵ月決算型）	1.51%	8.06%	8.69%
3	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）【愛称：杏の実】	1.78%	-0.46%	8.72%
4	グローバル・ソブリン・オープン	1.67%	1.49%	6.34%
5	LM・グローバル・プラス（毎月分配型）	1.73%	2.94%	9.55%
6	GW7つの卵	2.38%	5.33%	11.07%
7	ゴールドマン・サックス米国REITファンドAコース（毎月分配型、為替ヘッジあり）【愛称：コロンブスの卵】	1.98%	4.67%	14.13%
8	ジャパン・ソブリン・オープン	0.62%	0.45%	0.80%
9	LM・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）	2.32%	0.56%	19.26%
10	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド【愛称：健次】	3.02%	8.81%	17.56%
11	アジア好利回りリート・ファンド	2.35%	10.62%	12.00%
12	ゴールドマン・サックス米国REITファンドBコース（毎月分配型、為替ヘッジなし）【愛称：コロンブスの卵】	1.98%	7.91%	15.75%
13	HSBCインドオープン	2.81%	7.54%	21.29%
14	パインブリッジ新成長国債債券プラス【愛称：ブルーオーシャン】	2.16%	-0.46%	9.64%
15	日経225ノーロードオープン	0.86%	8.48%	15.72%
16	ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド【愛称：賢者のセオリー】	2.09%	0.25%	9.18%
17	フィデリティ・日本成長株・ファンド	2.30%	7.43%	16.34%
18	ダイワ高格付カナダドル債オープン（毎月分配型）	1.78%	-1.37%	9.20%
19	ワールド・インフラ好配当株式ファンド（毎月決算型）【愛称：世界のかけ橋】	2.46%	3.79%	14.40%
20	JPMアジア株・アクティブ・オープン	2.30%	9.51%	17.54%

4. 自主的K P I の結果

(1) 投資信託の販売額上位 10 銘柄

2018年3月期				2019年3月期			
カテゴリ	商品名	投資会社名	販売構成	カテゴリ	商品名	投資会社名	販売構成
国内株式	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	28.5%	国内株式	日経225ノーロードオープン	アセットマネジメントOne	24.8%
REIT	アジア好利回りリート・ファンド	三井住友アセットマネジメント	10.5%	国内株式	インデックスファンド225	三菱UFJ国際投信	12.7%
国内株式	インデックスファンド225	三菱UFJ国際投信	9.8%	海外債券	野村PIMCO世界インカム戦略ファンド Aコース（為替ヘッジあり 年2回決算型）	野村アセットマネジメント	7.3%
海外株式	グローバル・ロボティクス株式ファンド （1年決算型）	日興アセットマネジメント	5.6%	REIT	三菱UFJ Jリートオープン （3ヵ月決算型）	三菱UFJ国際投信	4.6%
REIT	三菱UFJ Jリートオープン （3ヵ月決算型）	三菱UFJ国際投信	4.2%	国内株式	新成長株ファンド 【愛称：グローイング・カバーズ】	明治安田アセットマネジメント	4.1%
REIT	ゴールドマン・サックス米国REITファンド Bコース （毎月分配型、為替ヘッジなし）	ゴールドマン・サックス・ アセット・マネジメント	3.6%	新興国株式	HSBCインドオープン	HSBC投信	3.9%
海外債券	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン （毎月分配金）	大和証券投資信託委託	2.9%	REIT	アジア好利回りリート・ファンド	三井住友アセットマネジメント	3.4%
国内債券	エス・ビー・日本債券ファンド	大和住銀投信投資顧問	2.8%	バランス	スマート・クオリティ・オープン （安定成長型）	三菱UFJ国際投信	3.0%
新興国株式	HSBCインドオープン	HSBC投信	2.7%	海外株式	グローバル・ロボティクス株式ファンド （1年決算型）	日興アセットマネジメント	3.0%
国内株式	野村インデックスファンド・TOPIX 【愛称：Funds-i TOPIX】	野村アセットマネジメント	2.6%	国内株式	野村インデックスファンド・TOPIX 【愛称：Funds-i TOPIX】	野村アセットマネジメント	2.7%

(2) 生命保険の販売額上位 10 銘柄

2018年3月期				2019年3月期			
カテゴリー	商品名	生保会社名	構成比率	カテゴリー	商品名	生保会社名	構成比率
外貨・終身	サニーガーデンEX	メットライフ生命	24.5%	外貨・終身	サニーガーデンEX	メットライフ生命	15.7%
外貨・終身	プレミアレシーブ (外貨建)	第一フロンティア生命	14.0%	外貨・終身	プレミアレシーブ (外貨建)	第一フロンティア生命	14.9%
外貨・終身	しあわせ、ずっと	三井住友海上プライマリー生命	11.1%	外貨・終身	エブリバディプラス	明治安田生命	11.3%
外貨・終身	やさしさ、つなぐ	三井住友海上プライマリー生命	6.5%	外貨・終身	ロングドリームGOLD 2	日本生命	7.8%
外貨・終身	プレミアプレゼント	第一フロンティア生命	6.0%	外貨・終身	プレミアプレゼント	第一フロンティア生命	7.6%
外貨・終身	エブリバディプラス	明治安田生命	5.5%	外貨・終身	やさしさ、つなぐ	三井住友海上プライマリー生命	6.5%
外貨・年金	プレミアジャンプ3・年金 (外貨建)	第一フロンティア生命	5.1%	外貨・終身	しあわせ、ずっと	三井住友海上プライマリー生命	4.9%
外貨・終身	ふるはーとJロードプラス	住友生命	4.8%	外貨・年金	みらい、そだてる	三井住友海上プライマリー生命	4.1%
外貨・年金	デュアルドリーム	日本生命	4.0%	外貨・年金	三大陸	メットライフ生命	3.6%
外貨・年金	三大陸	メットライフ生命	4.0%	外貨・終身	おおきな、まごころ	三井住友海上プライマリー生命	3.1%

(3) 投資信託販売における毎月分配型の比率 (単位: 百万円)

	2018年3月期	2019年3月期
販売総額	18,137	15,797
毎月分配型ファンド	4,867	2,068
毎月分配型ファンド比率	26.8%	13.1%

(4) 積立投資信託件数 (単位: 件)

	2018年3月期	2019年3月期
契約件数	39,485	46,287

(5) 投資信託保有期間 (単位: 年)

	2018年3月期	2019年3月期
保有期間	2.88	3.18

以上